

●収益の状況

経常利益は、前年同期比43百万円増加し、8億35百万円となりました。

基本的な収益力を示すコア業務純益は、貸出金利息、有価証券利息配当金共に増加した等により、前年同期比46百万円増加し、9億2百万円となりました。

○損益状況と総与信費用の推移 (単位：百万円)

	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期
経常利益	1,118	792	835
中間純利益	779	556	685
コア業務純益	739	855	902
総与信費用	△100	244	162

※コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益  
※総与信費用＝不良債権処理額＋一般貸倒引当金繰入額

●預金・預り資産・貸出金の状況

預金につきましては、公金預金、法人預金が増加したこと等により前年同期比64億9百万円増加し、2,502億26百万円となりました。

貸出金につきましては、中小企業等向け貸出や消費者ローンが増加したこと等により、前年同期比57億22百万円増加し、1,976億62百万円となりました。

○預金、個人預金及び預り資産残高の推移 (単位：億円)

	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期
預金	2,371	2,438	2,502
個人預金	1,639	1,595	1,535
預り資産	223	202	146

○貸出金及び佐賀県内向け貸出金の推移 (単位：億円)

	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期
貸出金	1,911	1,919	1,976
佐賀県内向け貸出金	1,317	1,297	1,292

●自己資本比率の状況（国内基準）

2025年9月期における自己資本比率は9.86%となりました。

自己資本比率は、国内基準で必要とされている4%を大幅に上回る水準を長年に亘り維持しており、経営の健全性は高く、安心してお取引いただける水準にあります。

当行は、今後とも財務基盤の強化に努めてまいります。

※自己資本比率とは総資産に対する自己資本（資本金や引当金等）の割合を示すもので、金融機関の財務内容の健全性を判断する重要な指標となっています。当行のように海外に営業拠点を持たない銀行は4%以上（国内基準）を維持することが義務づけられています。

○自己資本比率の推移 (単位：%)

	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期
自己資本比率（国内基準）	9.29	9.41	9.86

●不良債権の状況

当行は、「地域に根ざした面倒見の良い銀行」を目指しており、地域経済への貢献に重点を置いて、取引先企業の経営改善及び再生支援に注力することにより、不良債権の圧縮に努めております。

2025年9月末の不良債権（金融再生法開示債権）残高は、49億65百万円であり、総与信に対する割合は2.50%です。不良債権（金融再生法開示債権）残高のうち80.65%は貸倒引当金や担保等でカバーされております。

○金融再生法に基づく開示基準による資産内容 (単位：百万円)

	2025年9月期				
	債権残高 A	担保等による 保全額B	貸倒引当金 C	保全額 D=B+C	保全率 (%) D/A
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	848	461	387	848	100.00
危険債権	3,639	2,223	724	2,947	80.99
要管理債権	476	126	82	208	43.68
合計	4,965	2,810	1,193	4,004	80.65

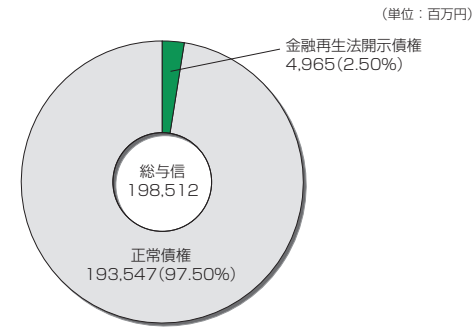
○不良債権（金融再生法開示債権）の推移（単位：百万円）

	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期
金融再生法開示債権残高	7,126	6,695	4,965
金融再生法開示債権比率	3.70%	3.47%	2.50%

金融再生法に基づく開示基準の概要

- 総与信……………貸出金、外国為替、支払承諾見返、未収利息、仮払金、貸付有価証券
- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権…経営が破綻した取引先への債権
- 危険債権……………経営状態が悪化し、経営は破綻していないまでも約定どおりに返済できない可能性が高い取引先への債権
- 要管理債権……………元金または利息の支払が3ヵ月以上遅れている貸出金と、貸出条件を緩和している債権（上記2債権を除く）

○総与信に占める金融再生法開示債権の残高と比率（単位：百万円）



※記載金額、比率は、単位未満を切り捨てて表示しております。

●当行の最近3中間期及び最近2事業年度に係る主要な経営指標等の推移

（単位：百万円）

項 目	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2024年3月期	2025年3月期
経 常 収 益	3,297	3,244	3,482	6,094	6,717
経 常 利 益	1,118	792	835	1,464	1,111
中間（当期）純利益	779	556	685	1,037	921
資 本 金 （発行済株式総数）	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)	2,679 (22,034千株)
純 資 産 額	17,217	18,081	20,132	18,364	18,428
総 資 産 額	266,654	269,701	278,516	254,839	260,838
預 金 残 高	237,140	243,817	250,226	228,543	234,902
貸 出 金 残 高	191,142	191,940	197,662	187,999	195,341
有 価 証 券 残 高	52,555	49,493	49,167	49,020	40,357
1株当たり中間純利益	35.68円	25.49円	31.38円	—	—
1株当たり当期純利益	—	—	—	47.51円	42.21円
潜在株式調整後 1株当たり中間純利益	—	—	—	—	—
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	—	—	—	—
1株当たり配当額	3.00円	3.00円	4.00円	6.00円	8.00円
従 業 員 数 [外、平均臨時従業員数]	269人 [79人]	246人 [69人]	227人 [64人]	253人 [76人]	232人 [68人]
自 己 資 本 比 率	6.45%	6.70%	7.22%	7.20%	7.06%
単体自己資本比率（国内基準）	9.29%	9.41%	9.86%	9.32%	9.62%
営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	80	12,175	13,748	△10,069	△65
投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	1,610	△1,384	△7,270	6,331	7,046
財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△69	△68	△109	△135	△137
現金及び現金同等物の 中間期末（期末）残高	22,702	27,929	30,420	17,207	24,051

(注) 1. 自己資本比率は、（中間）期末純資産の部の合計を（中間）期末資産の部の合計で除して算出しております。  
2. 単体自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づく2006年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は国内基準を採用しております。  
3. 潜在株式調整後1株当たり中間（当期）純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。  
4. 従業員数は、就業人員数を表示しております。

●2025年度に行った施策

・「インターネット支店」の開設

2025年8月に、店舗を持たないインターネット上の支店である「インターネット支店」を開設いたしました。  
「インターネット支店」では、当行の店舗がない地域のお客さまも口座開設をお申込みいただけるほか、パソコンやスマートフォンを通じて、いつでもどこでもお取引いただけます。

ご利用いただけるお客さま	日本国籍を有し、日本国内に居住する18歳以上の個人のお客さま
取扱業務	・定期預金のお預入れ・ご解約 ・普通預金口座による入出金、振込、振替、取引明細照会
お取引チャンネル	・佐賀共栄銀行インターネットモバイルバンキング ・当行ATMおよび全国の提携ATM
口座開設方法	インターネット支店ホームページからのお申込み
電話番号	0120-858-420（専用フリーダイヤル） ※受付時間：平日 午前9時～午後5時

・旅×読書で“人間力”を育む。内定者に旅の費用として20万円を支給

2026年4月入行予定の内定者を対象に、「人と会う」「旅をする」「本を読む」を通じて視野を広げ、価値観を豊かにし、柔軟な考え方を育むことを目的に、一人あたり20万円の旅の費用を支給します。  
また、本を読むための支援として、一人あたり4,500円の本の購入費用を支給します。

・「佐賀のごほうび定期預金」の取扱開始

佐賀県の名産品を特典としたキャンペーン定期預金「佐賀のごほうび定期預金」の取り扱いを開始いたしました。  
本商品は、全国のお客さまを対象としており、当行のインターネットモバイルバンキングからも申し込み可能となっております。

「佐賀のごほうび定期預金」を通じて、佐賀県の魅力を発信してまいります。

・「佐賀発！元気が広がる合同マルシェ」の開催

2025年10月18日に、SAGA久光スプリングス様のHOME開幕戦、JR九州様の西九州新幹線3周年、きょうぎんマルシェ50回を記念して3社共同開催の「佐賀発！元気が広がる合同マルシェ」を佐賀駅前広場にて開催いたしました。  
当日は、対面販売15社、キッチンカー4社が出展し、多くのお客さまにご来場いただきました。  
今後も、地元佐賀県の地域活性化に資する取り組みを続けてまいります。

・「カスタマーハラスメントに対する基本方針」の制定

深刻な社会問題となっているカスタマーハラスメントに関しまして、「カスタマーハラスメントに対する基本方針」を定めるとともに内部規定を整備し、銀行として組織的に対応することとしました。

当行は、お客さまからのご意見・ご要望に対しては誠意をもって真摯に対応を行いますが、カスタマーハラスメントに該当する行為に対しては、役職員の人権を守り、安心して働くことができる職場環境を維持するために組織的に毅然とした対応を行います。

・きょうぎん法人WEBサービス無料プラン「ライトサービス」の取扱開始

きょうぎん法人WEBサービスをよりご利用いただきやすくするために、月額基本手数料を無料とする「ライトサービス」の取り扱いを開始いたしました。  
サービスプランの拡充により、ニーズに合わせたサービスプランをご利用いただけます。

・メール便（銀行内における書類等の運搬）の廃止

銀行内におけるメール便につきましては、外部業者に委託しておりましたが、業務の効率化、電子化への移行、経費削減の観点から廃止いたしました。  
引き続き経費削減に努めてまいります。

・米国の追加関税措置に伴うご相談窓口の設置

米国の追加関税措置発動を受け、今後影響を受ける恐れがある事業者および個人の方の資金ニーズや返済方法等のご相談に対し、迅速かつ柔軟に対応するため、2025年4月4日からご相談窓口を設置いたしました。

【ご相談窓口】

全営業店：平日 午前9時～午後3時  
業務統括部（TEL 0952-22-5621）：平日 午前9時～午後5時